



地場産くるめの販売コーナー

## ビームス×久留米絨 新ブランド「CATHRI」地場産くるめで販売

若者に人気のセレクトショップ「ビームス」が、久留米の伝統工芸品「久留米絨」を使った新ブランド「CATHRI」を立ち上げました。県内の伝統工芸品の売上拡大に向け、高いデザイン性や幅広い販路を持つ企業と生産者をつなぎ、新商品開発を支援する県の事業の第1弾です。

新商品はTシャツやドレス、スカートなどで、久留米絨の肌触りの良さを生かしつつ、街なかで着やすいデザインを実現。地場産くるめ東谷川店とビームスの一部店舗で販売中です。

## 世界的な緊急事態に 最大級の危機感をもって対応



## ICT活用で効率的に E-市役所

【テレビ会議アプリでオンライン朝の会】  
3月9日から18日までに5回、田主丸小学校の5年生がタブレット端末を使って朝の会を行いました。担任の先生が児童一人一人に「よく眠れましたか」「体もしっかり動かしてね」などと声を掛け、クイズでコミュニケーションを取りました。川崎純佳さん(写真)は「友達の顔が見られて、ほっとしました」と話しました

# 新型コロナウイルス感染症 流行拡大が続く 学校の休校をICTで補完 この危機に新たな挑戦

## 子どもの学びを止めない

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行拡大しています。国内も患者の増加を受け、政府はイベントの自粛や小・中学校などの休校を要請しました。

久留米市は2月下旬から、主催イベントを原則中止か延期。3月7日から公共施設を順次閉鎖し、3月9日からは、市立の小・中学校、特別支援学校、高校を臨時休校としました。

休校期間も保護者が仕事を休まず、預け先が無い小学1・2年生を学校で受け入れていきます。子どもの学習を止めないため、学習支援サイトでの自学を促して授業を補完しています。教育ICT活用推進校の田主丸小学校では、5年生の2クラスでオンライン朝の会を実施。未だの学びの姿を実証する取り組みも進めています。

## 経済損失が深刻化

さまざまな自粛要請で市民の皆さんの外出の機会も減少。それに伴って地域経済にも深刻な影響を及ぼしています。市は、市内の中小企業の経営を支援するため、商工業者向けの相談窓口を開設し、特別融資制度も準備しました。さらに、市の発注

## 美術館と調和 文化会館の改修完了

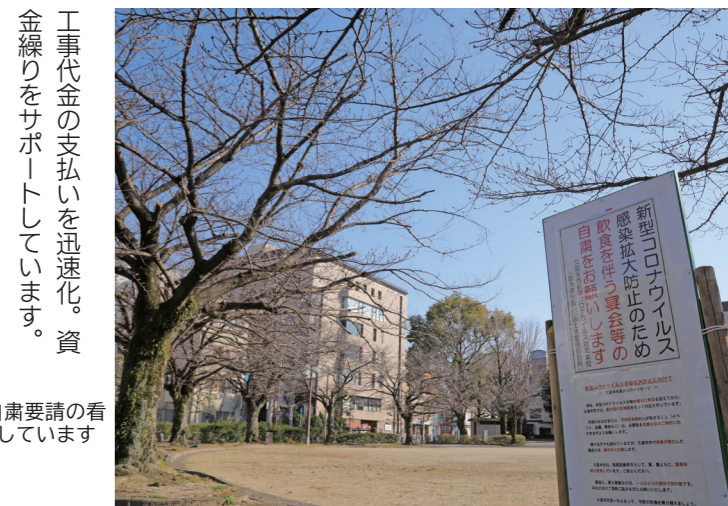
昨年11月から始まった石橋文化会館の改修工事が終わりました。古くなって雨漏りが発生したり、タイルが落ちたりするのを防ぐため外壁を改修。設計・工事費用は3359万円です。そのうち1390万円分は、石橋財団からの寄付です。

久留米市美術館や図書館と同じレンガ調に統一したことで、石橋文化センター全体が調和され、落ち着いた雰囲気になりました。現在、同センター前のバス停の改修も進んでいます。

◎文化振興課 ☎0942・30・9224、FAX0942・30・9714



総面積約5600㎡の改修が完了した石橋文化会館



## 市長がメッセージを発表

大久保勉市長は「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて」と題した市長メッセージを発表しました。その中で「最大級の危機感をもって対応することと表明し、「最も重要なことは一人一人の感染予防です」と協力を呼び掛けました。

◎新型コロナウイルス対策本部 (総務医薬課内) ☎0942・30・9724、FAX0942・30・9833

市ホームページは「新型コロナウイルスに関する情報」へはQRコード



調印書にサインする大久保勉市長(右)とエーザイの渡辺健一郎部長

## 認知症を理解して 支えるまちへ

久留米市と製薬会社エーザイが認知症の人と家族を地域で支えるまちづくりを進めるための連携協定を結びました。

同社は長年にわたって認知症の研究を続けています。市は連携しながら、認知症への理解や早期発見への取り組みを強化。認知症の人とその家族が、安心して暮らせるまちを目指していきます。

◎長寿支援課 ☎0942・30・9207、FAX0942・36・6845

市ホームページ「エーザイ株式会社と連携協定締結について」へはQRコード

三本松公園に設置している花見自粛要請の看板。下には市長メッセージも掲示しています